

栃木県立がんセンター研究所 研究集談会（第2回）開催

栃木県立がんセンター研究所では、研究者らが日々、基礎研究を重ねており、研究で見出された新しい医療の種(シーズ)を、実際の医療機関等で使える新しい医療技術・医薬品として実用化するトランスレーショナル・リサーチ(臨床と基礎研究の架け橋となる研究)の実践に向け、非臨床から臨床開発までの幅広い研究を進めております。

今回、昨年度に引き続き、研究集談会(第2回)を開催しました。この取り組みは単なる研究発表ではなく、栃木県立がんセンター研究所における研究活動の活性化を目的に、他診療科の臨床医へのアプローチを図り、更なる研究の相乗効果を図る狙いがあります。がんセンターはがん専門病院として、がん診療だけ

でなく、がん研究を積極的に行うことを奨励し、臨床医の研究参加を積極的に進めております。

今後も栃木県立がんセンター研究所の活動にご期待下さい。



栃木県立がんセンター研究所
副研究所長兼病理診断科科长 尾島英知

◆◆◆当日のプログラム◆◆◆

開催日:2025年6月19日

研究演題

◇分子病理分野

山崎 剣 「DNAメチル化に基づく肝細胞癌の分類」

久保田 直人 「肝内胆管癌の組織形態および遺伝子発現による分類とその特徴」

石井 政嗣 「膵癌根治切除症例における上昇している術前腫瘍マーカー数の有用性の検討」、「肝内胆管癌間質多様性と予後の関係」

栃木県立がんセンター研究所では、栃木県内および全国のアカデミアや企業との共同研究体制を強化し、栃木県で唯一の栃木キャンサーバイオバンクを有している強みを最大限に発揮したがん克服に向けた研究(トランスレーショナルリサーチ)を進めております。

※共同研究にご興味があれば HP お問い合わせフォームよりご相談ください。

